

教科（科目）	理科（科学と人間生活） （科学と人間生活②再）	単位数	2 単位	学年（コース）	1 年次必履修 2・3 年次選択履修
使用教科書	実教出版『科学と人間生活』				
副教材等	なし				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ① 自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力を育成します。 ② 勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材を育成します。 ③ 社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ① 少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT 等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行います。 ② 二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践します。 ③ 自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組みます。 ④ 地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行います。

### 2 学習目標

<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の見方・考え方を働かせ、自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深めることを目指す。</li> <li>自然の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度を培う。</li> <li>科学技術の発展や環境問題・自然災害の理解を通じて、科学の課題を考察する姿勢を養う。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象を人間生活と関連づけて、問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し表現している。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。

### 5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査や小テストの分析</li> <li>ワークシートやレポートの内容などから評価します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査や小テストの分析</li> <li>実験や観察への取り組み</li> <li>ワークシートやレポートの内容などから評価します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業へ出席や取り組み</li> <li>ワークシートやレポートの内容などから評価します。</li> </ul>

### 6 学習計画

月	単元名	項目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	1 科学と技術の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学と技術の始まり</li> <li>海と土の科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の始まり、資源、生態系を例に、人間生活と科学の関わりへの興味づけを行う。</li> </ul>	3	課題と前期中間考査
5	2 物質の科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料とその再利用</li> <li>食品と衣料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属、プラスチック、セラミックスの性質と利用を学ぶ。</li> </ul>	16	課題と前期中間考査

6			・食品や衣料を構成する物質が高分子化合物であることを理解する。また栄養素の役割や、天然繊維と化学繊維の利用を学ぶ。		
7	3	生命の科学	・微生物とその利用 ・ヒトの生命現象	19	課題と前期期末 考查
9					
10	4	光や熱の科学	・熱の性質とその利用 ・光の性質とその利用	16	課題と後期中間 考查
11					
12	5	宇宙や地球の科学	・太陽と地球 ・身近な自然景観と 自然災害	16	課題と後期期末 考查
1					
2					
3			・日本の気象、自然景観の成因や日本列島の成り立ちを学び、さらに自然災害が起こるしくみを理解し防災意識を高める。		

計 70 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・ワークシートや小テストを課し、提出を求めます。定期考査はこの内容をもとに行います。
- ・観察や実験ではレポートの提出を求めます。

## 8 担当者からの一言

真面目にこつこつと学ぶ姿勢を求めます。授業に熱心に取り組んで課題を提出し、復習をていねいに行なって定期考査に臨んでほしい。科学の知識を深め、論理的な思考を身につけて下さい。